学校番号	３０１８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	生物基礎　（数研出版）						
副教材等	三訂版リードLightノート生物基礎（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生で学習した化学の知識をもとに、最新の生物学につながる基礎のなかの基礎を学ぶ。
・とかく暗記物と軽く見られがちな生物であるが、授業を退屈なものにしない秘訣は、常になぜ？と疑問をもつことである。授業中に設問があったときには、教科書や図録のどこを見れば答えに近づけるかを自分で考えるくせをつけてほしい。
・授業は教科書を基本として、リードLightノートへの書き込みを中心に進めていく。あらかじめ設けられた空所を埋めるだけでなく、講義や映像教材で見聞きした内容も余白に書きこむなどして積極的に活用してほしい。
・リードLightノートは定期考査の直前ごとに点検し、学習の進捗状況を確認する。
・それと前後して、小テストを行う。各自で到達度をチェックするとともに、定期考査に向けて有効活用できるものとする。

2　学習の到達目標

・中学校までに学んだ理科と１年生で学習した化学の知識と日常的な経験を拡張し、生物がかかわる自然現象について科学的に考える。
・日常生活や社会と生物学を関連づけながら、生物や生命現象への興味や関心を高める。
・目的意識をもって観察や実験に参加し、自主的にその内容をまとめる力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物の多様性と共通性に関する基本的な内容を体系的に学ぶことでそれらを十分に理解し、光学顕微鏡などを用いて基礎的な実験操作を行うことができる。	生物とエネルギーに関する基本的な概念や原理・法則を、図表や数式、グラフなどと有機的に関連づけて理解し、計算問題を通じて量的な関係の取り扱いに慣れ、表現することができる。	生物の多様性と生態系に関する知識をもとに、身の回りのさまざまな生命現象に興味・関心をもって接し、生物学的な視点からとらえようとする意欲がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生物の特徴	・生物の多様性と共通性 ・細胞 ・生命活動とエネルギー ・酵素と代謝 ・光合成と呼吸	a: 細胞の基本構造にみられる構造の名称を暗記し、それらの働きを理解する。 b: 細胞内の構造をもとに自然界に存在する様々な生物の細胞レベルで分類することができる。授業中に生徒実験を行い、光学顕微鏡を用いた実験操作に習熟している。 c: 生物の定義やさまざまな細胞について関心をもち、調べたり、観察することができる。	定期考査	定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出ﾉｰﾄ
	遺伝子とその働き	・遺伝子の本体 ・DNA の構造 ・DNA の複製と分配 ・遺伝子とタンパク質	a: 遺伝子の本体が DNA という化学物質であることへの理解が進んでいる。 b: DNA が遺伝子として働くしくみを塩基の相補的な結合で理解し、応用的な問題にも対処することができる。DNA の塩基配列が暗号となってタンパク質を指定する過程について、的確に説明することができる。 c: DNA が遺伝子としてどのように働いているのかについて関心をもち、遺伝との関連について考えることができる。	定期考査	定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出ﾉｰﾄ

2	ヒトのからだの調節	・体内環境と恒常性 ・体液とその働き ・体液の調節 ・情報の伝達 ・自律神経系 ・内分泌系	a：体内環境の意味を理解することができる。 b：血液が循環することで酸素を運搬するしくみを定量的にあつかいグラフを読み取ることができる。 c：体内環境について、自分と関連付けて考えることができる。	定期考査	定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出ﾉｰﾄ
	免疫	・生体防御と免疫 ・自然免疫のしくみ ・獲得免疫のしくみ ・免疫と疾患	a：免疫の基本的なしくみを理解することができる。 b：獲得免疫のしくみを理解し、免疫細胞の動きを的確にとらえることができる。免疫と疾患の関係を理解し、種々のデータをもとに考察することができる。 c：免疫と病気との関係について興味をもち、考えることができる。	定期考査	定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出ﾉｰﾄ
3	生物の多様性と生態系	・生態系とその成り立ち ・植生と遷移 ・植生とバイオーム ・生物の多様性 ・生物どうしのつながり ・生態系のバランス ・人間生活と環境への影響 ・生態系の保全	a：生態系の成り立ちとその変化や保全について理解することができる。 b：生態系に関連するさまざまなデータを的確に読解し、その生物学的意義を考察することができる。 c：人間を生態系の一員と位置づけ、その影響と環境の保全について、主体的に考えることができる。	定期考査	定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出ﾉｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度